

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

JRの駅周辺や八幡橋付近、浜に主要な商業施設があり、高齢者等にとって買い物に行きにくい地域もあります。新しい集合住宅が建っている地域があり、全体の高齢化率が抑えられているところもありますが古くからある集合住宅や地区によっては高齢化が進んでいる地域もあります。住民の結びつきが強く、連合町内会を中心に組織化されており、ボランティア活動や地域福祉保健計画への取組みにも熱心な地域です。地域がこれからも元気に活動できるように広く住民が健康作りを取組むことまた、その場が用意されていること。また、既存のボランティア活動や地域サロン、健康作りの取組みが継続されるよう新たな担い手が育成されることが必要と考えています。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域に潜在する生活に困窮している方たちの支援と地域ケアプラザを知っていただく機会とするために、連合町内会、地区社協、民児協と連携し、フードパントリーを定期的で開催する。(年2回程度)当日も相談窓口を設ける予定。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	広報誌「こんち」に既存の地域活動を掲載して紹介することで、住民が地域にどのような活動があるかを知ることができるようにする。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	北磯子住宅で見守りポイントを作成してから、さらに課題が出てきている。振り返りの話し合いの場を定期的で開催する仕組みを作る。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	愛犬のお散歩をしながら、地域の安心安全を見守る「わんわん見守りサポーター」を立ち上げ、活動を開始する。関心を持っていただくためにオリジナルのパトロールバッグ、(CPで作成)グッズを配布する。定期的に情報交換会を開催する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	駅前ビルに講師を招いて、駅前ビル・駅前第2ビル・ダイヤモンドマンション・駅前共同ビルの方を対象にロコモ予防、口腔機能向上、栄養改善、認知症予防を行う。また社会参加に繋げる。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

令和4年度はコロナ禍にありながらも少しずつ通常の生活に戻りつつある年でしたが、これまで不自由さを感じながらも色々な団体、関係機関と連携を取り続けてきたことによって、町内会館等に出向いての事業活動を進めていくことができたと感じています。
また、民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会をはじめとした地域関係機関や行政等の専門機関との関係構築からフードバンク事業など根岸特有の活動を行うことができ、また事例として発表することもできました。
しかし、まだ安心して事業を展開するところまでは至っておらず、個別の地域課題に対しての地域ケア会議の開催やハッピー根岸での地域課題に対する取組みを充分に行うことはできませんでした。
令和5年度はハッピー根岸や地域ケア会議等を通して、地域課題に取り組む機会を多く持つことを目指したいと考えています。

区からのコメント

令和4年度は感染症対策を徹底しながらも積極的に事業を展開し、広報誌での地域活動紹介や「わんわん見守りサポーター」など地域活動の裾野の広がりにつながる取組を展開するとともに、地域に出向いて相談を受けたりと、地域の身近な相談機関として地域住民との関係性を築き続けていただきました。新たな担い手を呼び込むとともに、様々な場面・手段でニーズを汲み取れるよう、引き続き取組をよろしくお願いたします。
総合相談もコロナで家庭が見えづらい状況にあっても積極的に状況把握に努め、区民のニーズに合わせた支援を多岐にわたって行っていただきました。介護予防事業などでもケアプラザ職員同士で地域情報を密に共有し綿密な準備の末、様々な場で事業展開し地域に根差したかたちで始めることが出来ておりましたので、今後も長期的に立ち上げた事業が続くことを期待しております。